

イギリスからHello!(こんにちは)

今月は、三豊市立高瀬中学校教頭からイギリスのロンドン日本人学校教頭として派遣されている白川先生です。



私の勤務する学校を紹介します。ロンドン日本人学校は、小学部352名、中学部127名、テムズ学級3名で、合計482名です。ただし、この児童生徒数は4月15日現在のもので、

1学期末までに49名が転出し、2学期の始業式には50名以上の転入が予想される、転出入のとても多い学校です。日本からの派遣教員、現地採用の日本人教員、英国人教員、養護・司書・事務等職員を合わせると45名のスタッフになります。

現在使われているアクトン校舎はロンドンの西にあり、築100年を超えるレンガ造りの建物です。以前の校舎はロンドンの中心部ピカデリーのリージェント公園の近くにありました。本校の校歌が1番から5番まであるのは、実は校舎移転のために、新しく4番と5番が追加されたためです。子どもたちは集会があるたびに、この校歌を大きな声で歌っています。

さて、ロンドン日本人学校は今年度創立30周年を迎え、それをお祝いする記念行事、記念壁画の作成、記念グッズの作成等が企画され、次々と実施されています。

6月3日には400mトラックの競技場を借りて小中合同

の30周年記念運動会が行われました。赤組・白組に分かれての応援合戦や創作ダンスには見応えがありました。

ロンドンは緯度的に見ると、北海道よりまだ北に位置しています。夏は朝の4時過ぎから夜の9時過ぎまで明るく、夜が極端に短いです。しかし、冬になると夕方3時を過ぎると暗くなるそうです。西岸海洋性気候なので、緯度が高い割りに温暖です。ただ今年の夏は例年になく暑く、7月の平均気温は過去最高だったそうです。それでも、湿度が低く、蚊やセミもほとんど生息していないので、日本の夏と比べると本当に過ごしやすいです。

本校のホームページはコンピュータ上のトラブルから昨年度1学期以降更新ができていませんでしたが、近々全面更新されますので、最新の情報がご覧いただける日も近いと思います。

ロンドン日本人学校教頭 白川 明德



▲ 30周年記念運動会の応援合戦の風景、“30”の人文字が分かりますか？

※ロンドン日本人学校のホームページ <http://www.thejapaneseschool.ltd.uk/> もご覧ください。

夏休み中の広報活動
7月20日～8月31日の午前中、「少年を守る会」会員の皆さんと、広報車で健全育成の呼びかけを行いました。
中学生の一日補導員
7月26日に、三豊市内の8中学校、各校2名の生徒に一日補導員を委嘱し、高瀬駅、スーパーマーケット、高瀬警察署などを巡回して、迷惑行為や問題行動について考えてもらいました。



▲一日補導員を委嘱された中学生

駅前キャンペーン
7月3日朝、「少年を守る会」会員の皆さんに協力をいただき、「STOP万引き」を訴えて、登校中の高校生に「愛の一声」をかけました。また、駅周辺の清掃も行い、環境浄化に努めました。

また、8月3日には、高瀬町農村環境改善センターで、来賓に横山市長と岩倉教育長を迎え、香川県少年育成センター連絡協議会定期大会が開催されました。
県内の14の少年育成センターより、250人の参加者がありました。開会式に引き続き、香川県総務部青少年・男女共同参画課大山氏と瀬戸内短期大学草間教授の講演が行われ、午後からの分科会では県内の3センターから取り組みの報告などを受け、研究討議などが行われました。
青少年をめぐる問題は後を絶ちません。そうした環境の中で青少年の健全な育成をはかるために大切なのは、家庭で親子の会話を増やすことだと思っています。

また、親だけでなく地域の皆さんの協力もよろしくお願いします。

少年育成センター

一般用	72-5039
FAX	72-5497
少年相談	72-5024

男女共同参画

ひとりで悩まないで・・・思い切って相談しましょう!!

性犯罪、売買春、配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、ストーカ行方など、女性に対する暴力にはさまざまな形があり、これらの暴力は女性の人権を著しく侵害するもので、必ず克服しなければ、真の男女共同参画社会は形成できません。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

平成 14 年度に内閣府が実施した「配偶者等からの暴力に関する調査」では、配偶者や恋人から一度でも暴力を受けたことのある女性は 5 人に 1 人に上ることが明らかになっています。

このような暴力はただ耐えるだけでは解決しません。公的機関などに相談し、解決しようとする必要があります。

配偶者とは・・・男性、女性を問いません。事実婚や元配偶者も含まれます。

暴力とは・・・身体的暴力のみならず、精神的暴力・性的暴力も含まれます。

暴力についてのご相談は

香川県子ども女性相談センター

女性相談電話 087(835)3211

受付時間 月～土曜日(祝日を除く) 午前 9 時～午後 9 時

教育支援センターの場所が変わりました

三豊市不登校対策教育支援センター(教育支援センター)の場所が変わりましたのでお知らせします。

また、専用電話(相談用)も設置しましたのでご利用ください。



場 所 高瀬町農村環境改善センター 2階
(高瀬支所前)

電話(Fax) 専用 ☎72-6130
(学校教育課 73-3011)

時 間 午前 9 時～午後 5 時

教育支援センターは、精神的な理由等から、学校に登校することができない小学生や中学生に対して教育的支援を行う場所です。

2 名の指導員が、勉強や運動等の支援にあたりたり、不登校についての相談を行ったりしています。電話での相談もできますので、気軽にお問い合わせください。

ひとりで悩まずに、みんなで一緒に考えていきましょう。

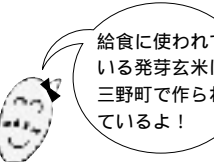
シリーズ
No 3

なんなん? 食育

三野町学校給食センター

食育基本法が施行され国民的課題として食育が推進されていますが、三野町では平成 10 年度からの 3 年間、文部省指定の健康教育総合推進モデル事業をうけ『毎日、朝ごはんを食べて登校しよう』『毎朝、排便をすませて登校しよう』を合言葉に、町内 4 校が子どもたちの将来を見据えて、『望ましい食習慣の形成』に取り組みました。この時、学校給食センターでは、学校との連携のもと家庭の食事の手本となるような、栄養バランスの取れたおいしく安心して食べられる給食の提供をめざしました。

▼ 吉津小学校 5 年生家庭科の授業風景
「みそ汁はどうしてからだにいいの?」



給食に使われている発芽玄米は三野町で作られているよ!

また、食育の授業に使用する教材、給食の献立から選んだ朝食メニュー集などを調理員が作成し、学校栄養職員が積極的に授業に参加して食に関する指導を行いました。そして命の連鎖、命をいただく食事を追求した町内のある小学校は、平成 12 年度の学校給食優良校(文部大臣賞)の栄誉に輝きました。このモデル事業の成果は、『食』が体のみでなく、心も育てる大きな力をもっているということを確認させるもので、子どもたちの健康作りの伝統を築いています。

現在、三野町学校給食センターでは、幼稚園 3 園、小学校 3 校、中学校 1 校、合わせて 1130 人の給食を提供しています。そして、引き続き学校栄養職員による各学校、学級での給食時間の栄養指導、授業への参画など、食育の計画的な推進に取り組んでいます。

メニュー紹介

発芽玄米ぞうすい

作り方

水に煮干と昆布を入れだしをとる。
材料は食べやすい大きさに切る。
なべに出し汁をわかし、とり肉、野菜、油揚げを入れ煮る。
洗った発芽玄米を入れ煮る。
しょうゆ、にら、とき卵を入れ仕上げ煮る。

材料(1人分)

発芽玄米 15g
とり肉 20g
だいこん 15g
えのき茸 5g
はくさい 15g
油揚げ 6g
にんじん 8g
にら 5g
卵 10g
しょうゆ 小さじ1
煮干(だし用) 4g
昆布(だし用) 1g
水 2/3カップ